

“有”と「ある」との対応関係の検討
— “A有B”構造を中心に—

白 愛仙

Examination of Correspondency between “YOU” and 「ARU」
— On “A you B” structure —

BAI Aixian

内容提要

“有”作为关系动词，根据句子中各成分（主要为主语和宾语）之间的意义关系，表示着“拥有/所有/具有/评价/存在/列举/到达/比较/数量/推测/发生/出现/变化……”等多种意思。具有多种意思的“有”在同日语对应时，便表示各种各样的对应关系。

“有”既可同日语的「aru」「iru」「motteiru」「sita (suru)」「dekita」「natta」等动词相对应，又可根据“有”句子中各成分（主要为宾语）的含义，译成相对应的词。这可以看作是“有”句子的结构特点的反映，而且是日语的一个特点。

キーワード：“有” 「ある」 関係的な意味 対応関係 多様化

目次

- 1 はじめに
- 2 存在を表す“有”構文
- 3 所有・人間関係を表す“有”構文

- 4 属性を表す“有”構文
- 5 変化を表す“有”構文
- 6 おわりに

1 はじめに

“有”の意味について、『現代汉语八百詞』では、“①表示領有、具有 ②表示存在 ③表示性質、數量達到某種程度”と述べ、『中國語文法概論』¹⁾では、「①領有を表す ②氣質を表す ③變化を表す ④數量を表す ⑤下位分類を表す ⑥列挙を表す」と述べ、『現代中國語文法總覽』²⁾では、「①所有を表す ②存在を表す ③發生・出現を表す ④列挙・包含を表す ⑤到達・比較を表す」と述べている。

このように、“有”は多義語として、「所有・領有・具有・評価・存在・列挙・下位分類・包括・到達・比較・數量・推量・發生・出現・變化……」などの多様な意味を表しているが、關係動詞としての“有”の意味は、基本的に構造における主語と目的語のカテゴリカルな意味、主語と目的語の關係的な意味³⁾、構文の文法的な意味⁴⁾によって規定される。たとえば、

- | | |
|---------------|---------|
| (1) 桌上有词典。 | <存在> |
| (2) 我有词典。 | <所有> |
| (3) 我思想上有些波动。 | <属性・変化> |

例(1)(2)のように、“有”の目的語が具体的なものである場合、主語が場所であるか所有者であるかによって、存在と所有の意味に区別される。例(1)は主語が場所を示すことで、「存在を表す」といえ、例(2)は主語が所有者を示すことで、「所有を表す」といえる。また、例(3)のように、“有”の目的語が“波动”のような抽象的なものの場合、目的語のカテゴリカルな意味が注目される。たとえば、“波动”は、“思想上发生了第一次大的波动”、“内心起了很大的波动”、“心里起了一阵波动”、“产生过剧烈的感情波动”、“情绪还有些波动”のように、人間の心の世界で、発生する心理的な感情物でもあり、感情的な発生物でもある。“波动”が、心理的な感情物という視点から、“有”は、「感情

的な属性を表す」といえ、「波動」が、感情的な発生物という視点から、「有」は、「感情的な変化を表す」といえる。

一方、例(2)の“有”が後にアスペクト助詞“了”を用いる場合、「変化を表す」といえ、例(3)の“有”が後にアスペクト助詞“过”を用いる場合、「過去のことを表す」といえる。

ところで、“有”の多様な意味は、日本語との対応関係において、多様な対応関係を示すことになる。たとえば、例(1)は、「机の上に辞書がある」という意味で、“有”は「～がある」との対応関係を示し、例(2)は、「私に(は)辞書がある」、「私は辞書を持っている」という意味で、“有”は「～がある」、「～を持っている」との対応関係を示し、例(3)は、「私の思想面で動揺がある」、「私の思想が動揺する」という意味で、“有”は「～がある」、「～(動揺)する」(直接目的語との対応関係を示すといえる)との対応関係を示す。これらの対応関係における多様化は、“有”構文の構造的なタイプの反映でもあり、日本語表現の特徴でもある。

そこで、本論では、(一)存在を表す“有”構文、(二)所有・人間関係を表す“有”構文、(三)属性を表す“有”構文、(四)変化を表す“有”構文に注目し、構造的なタイプを規定しながら、“有”と日本語との対応関係を分析することで、“有”構文の構造的なタイプの特徴の解明を試みる。本論で対象にする“有”構文は、“主語+有+目的語”構造として、“A有B”と扱う。

2 存在を表す“有”構文

“有”構文におけるAとBが、〈場所〉と〈存在物(存在者)〉との関係、〈範囲〉と〈下位分類〉との関係、〈場所(時間)〉と〈こと〉との関係を示す場合、「存在を表す」といえる。本節では、〔I〕Bがひと・ものを示す場合、〔II〕BがAの下位分類を示す場合、〔III〕Bがことを示す場合を検討の対象にしている。

2.1 Bがひと・ものを示す場合

AがBの存在場所として、Bがものを示す場合、“有”は「～がある」との

対応関係を示し、Bがひと・動物を示す場合、“有”は「～がいる」との対応関係を示す。日本語における存在場所は、「に」、「には」で示され、“有”構文における存在場所は、“河边・队伍里”のように方位詞によって場所化される傾向がある。

(4) 觉民笑了，说：“琴妹，我这儿有新的《少年中国》，你看吧。《家》(原文) 觉民も笑いながら「琴妹、ここにも新しい『少年中国』があるよ。見たまえ」『家』(訳文)

(5) “很久以前，在一条宽阔的河边，有一个美丽的小村庄。《轮椅上的梦》(原文)

「むかし、むかし、広い河のほとりに美しい村がありました。『車椅子の上の夢』(訳文)

(6) 余司令初挑大旗招兵买马，聚起了一支五十多人的队伍，队伍里有一个穿一身黑制服，穿一双白皮鞋，面色苍白，留着乌黑长发的瘦削青年。《红高粱》(原文)

余司令が旗あげして兵を募ると、五十余人の隊員が集まった。そのなかに、黒服を着て白の革靴をはき、まっ黒な髪を長くのばした青白い顔の若者がいた。『赤い高粱』(訳文)

(7) 我家有只养了十一年的白猫，(2005年中検2級・1級問題集 p10)

うちには11年飼っている白猫がいた。(同上 p29)

例(4)(5)は、ものの存在として、“有”は「～がある」との対応関係を示し、例(6)(7)は、ひと・動物の存在として、“有”は「～がいる」との対応関係を示している。なお、例(8)のように、Bがひと・ものを共に示すことになると、“有”構文は、“A有B₁B₂B₃”の構造として、存在対象Bの並列が可能であるが、日本語は「いる」と「ある」で、存在対象を区別しなければならない。なお、“有”構文においては、“A有B₁,有B₂,有B₃”の構造も可能である。

(8) 村里办着小学校。小学校有一眼窑，一个老师，几十个学生，
《插队的故事》(原文)

村では小学校を運営している。小学校には窯洞がひとつあり、教師がひとり、生徒が数十人いる。『遥かなる大地』(訳文)

2.2 BがAの下位分類を示す場合

AがBの範囲を示し、BがAの下位分類を示す場合、人が話題になると、“有”は、例(9)のように「～(ひと)がいる」との対応関係になり、ものが話題になると、“有”は、例(10)のように「～(もの)がある」との対応関係になる。日本語における範囲(A)は、「には」で示される。AとBは類を同じくしていることで、“有”構文におけるBは、“的”連語で示される場合がある。

(9) 这些房客还有没有交房租的。 (『中国語文法概論』 p33)

これらの間借り人の中には、部屋代を納めていないひとがまだいます。

(同上)

(10) 我们吃的菜有自己种的。 (『中国語文法概論』 p313)

私たちが食べる野菜には自分で栽培したものがあります。(同上)

一方、Bの並列によって、例(11)のような“A有B₁B₂B₃B₄…”構造が用いられる場合もあれば、“有B”の並列によって、例(12)のような“A有B₁, 有B₂, 有B₃, 有B₄, …”構造が用いられる場合もある。例(11)のように人が話題になると、“有”は、「～(ひと)がいる」との対応関係になり、例(12)のようにものが話題になると、“有”は、「～(もの)がある」との対応関係になる。

(11) 这个旅游团里有教师, 商人, 工人, 医生, 演员各色的人。

(『中国語文法概論』 p313)

この旅行団の中には教師、商人、労働者、医者、俳優など様々な人がいます。(同上)

(12) 这些邮票有法国的, 有日本的, 有中国的, 也有巴西的。 (『中国語文法概論』 p313)

これらの切手の中には、フランスのものも、日本のものも、中国のものも、これにブラジルのもものもあります。(同上)

また、例(13)(14)のように、“A除了B₁(以外), 还有B₂”構造が用いられ

る場合もある。一般的に“除了”、“除了～以外”は、排除を表すが、“除了”が“还有”を伴う場合、排除ではなく、「～ほかに～もある（いる）」という意味を表すことになる。これらの場合、“除了”は“有”に置き換えられる。

(13) 他的学伴，除了英国人之外，还有北欧的挪威、丹麦等国的孩子，
《关于女人》（原文）

仲間はイギリス人のほか、北欧のノルウェー、デンマークなどの少年たちである。『女の人について』（訳文）

(14) 我还想请首相告诉国际上和香港的人士，“一国两制”除了资本主义，还有社会主义，就是中国的主体、十亿人口的地区坚定不移地实行社会主义。《邓小平文选第三卷》（原文）

「一国二制度」には資本主義のほかに社会主義もあり、つまり中国の主体十億の人口を擁する地区が確固として揺なく社会主義を実行しています。『鄧小平文選3』（訳文）

例(13)の「～である」は「～がいる」ともいえる。例(13)(14)における“除了”は“有”に置き換えられる。たとえば、例(13)は、“他的学伴，有英国人，还有北欧的挪威、丹麦等国的孩子”といえ、例(14)は、“‘一国两制’有资本主义，还有社会主义”といえる。

2.3 Bがことを示す場合

〈1〉Bが行事・突然的なことを表す場合

Bが“考试・会议・比赛”のような予定的な行事を示す場合、“有”構文は、時間詞を伴う場合があり、存在場所Aは省略される場合がある。これらの構造における“有”は「～がある」との対応関係を示す。

Bが“脚步声・人声”のような突然的なことを示す場合、「発生を表す」ともいえる。これらの“有”構文は、場所詞を伴うが、時間詞を伴う場合がある。

“有”は「～がした（する）」、「～があった」との対応関係を示す。「～がした」と「～があった」は置き換えが可能である。日本語における存在場所は、「に格」、「で格」、「から格」⁵⁾で示めされる。

(15) 特别是第二天要有重要的考试、或有重要的会议、或有比赛等，往往头

一天晚上头脑越发清醒，总也难以入眠。 顺应自然的生存哲学(訳文)
とくにあす大事な試験があるとか、重要な会議がある、試合があるとなると、頭がさえて眠りにくくなるものだ。『心の危機管理術』(原文)

(16) 正在这时，忽听门外有了脚步声，道静一下子吓愣了。《青春之歌》(原文)

ちょうどそのとき、部屋の外で足音がした。道静はぎくりとして、身をすくめた。《青春之歌》(原文)

(17) 我一面扶起老太太，说：“不要紧了，飞机已经过去了。”正说着街上已有了人声，家家门口有人涌了出来，纷纷的惊惶的说话。《关于女人》(原文)

姑さんをたすけ起こしながら私は、「だいじょうぶですよ。飛行機は行ってしまいましたよ」と慰めた。+++そういったときには、もう路上に人声がして、家々から人びとがぞろぞろ出てきて、わいわいと驚いた声で話していた。『女の人について』(訳文)

(18) 似乎前面有些脚步声；他正听，猛然间一个人从对面逃来了。《呐喊》(原文)

行く手のほうに足音がするようだ。耳をすましていると、不意にひとりの男がこちらへ逃げてきた。『呐喊』(訳文)

例(15)の“有”は、「～がある」との対応関係を示し、例(16)(17)(18)の“有”は「～がした」との対応関係を示している。なお、例(16)は「部屋の外で足音があった」、「部屋の外から足音がする」ともいえ、例(17)は「もう路上に人音があつて」、「もう路上から人音がして」ともいえ、例(18)は「行く手のほうに足音がある」、「行く手のほうから足音がする」ともいえる。

〈2〉過去のことを表す場合

“有”構文における“有”が後に“过”を用いる場合、「過去のことを表す」といえ、“有”は、「～(こと)があつた」との対応関係を示す。これらの“有”構文は、過去の時間詞を伴う傾向がある。

(19) 五年分别之中，她和四弟也有过几次吵架，几次误会，每次出了事故，

四弟必立刻飞函给我，托我解围。《关于女人》(原文)

五年間もはなればなれで、その間、何度かのケンカもあったし、誤解もあった。『女の人について』(訳文)

(20) 过去他自然也有过惶恐，有过游移，有过失落感，但那都只是暂时的。
《钟鼓楼》(原文)

これまでに彼は、不安があった、動揺があった、喪失感を味わったことがあったが、あくまでも一時的にすぎなかった。『鐘鼓楼』(訳文)

(21) 我也曾有过几次的心软……但我都终于逃过了。《关于女人》(原文)

情にほだされそうになったこともありますし……。けれど、どれも避けました。『女の人について』(訳文)

3 所有・人間関係を表す“有”構文

“有”構文におけるAとBが、〈全体〉と〈部分〉関係、〈所有者〉と〈所有物〉との関係を示す場合、「所有を表す」といえ、AとBが、家族(夫婦・兄弟・姉妹・親子)関係・友人関係を示す場合、「人間関係を表す」といえる。本節では、〔I〕AとBが全体と部分関係を示す場合、〔II〕BがAに所有されるもの示す場合、〔III〕AとBが家族関係・友人関係を示す場合を検討の対象にしている。

3.1 AとBが全体と部分関係を示す場合

Aが人名詞(動物名詞)として、AとBが〈全体〉と〈部分〉関係を示す場合、“有”は、「～がある」、「～を持っている」との対応関係を示し、「～がある」と「～を持っている」は置き換えが可能である。「～がある」構造におけるAは「には」、「は」で示され、「～を持っている」構造におけるAは「は」で示される。

(22) 鸟有翅膀。(『現代中国語文法総覧』p583)

鳥には翼がある。

(23) 人人都有两只手。(『現代中国語文法総覧』p583)

人間は誰もがみな二本の手を持っている。(同上)

例(22)の“有”は、「～がある」との対応関係をなし、例(23)の“有”は、「～

を持っている」との対応関係をなしている。なお、例(22)は「鳥は翼を持っている」ともいえ、例(23)は「人間には誰もがみな二本の手がある」ともいえる。

なお、例(24)のように、Bが身体部分として、Aが特定のなひとを示す場合、「評価を表す」といえる。たとえば、例(24)の場合、AとBは全体と部分関係ではあるが、BがAの頭がいいこと、能力があることの評価であるといえる。

(24)她有现代的头脑，稳静公平的接受现代的一切。《关于女人》(原文)

彼女には現代的な頭脳があり、冷静公平に現代的なものすべてを受容した。『女の人について』(訳文)

例(24)は、「彼女は現代的な頭脳を持っている」ともいえる。

3.2 BがAに所有されるものを示す場合

AとBが〈所有者〉と〈所有物〉との関係を示す場合、Aは人名詞・組織名詞を示し、Bは具体的なもの・抽象的なものを示す。これらの場合、“有”は「～がある」、「～を持っている」と対応関係を示し、「～がある」と「～を持っている」は置き換えが可能である。「～がある」構造におけるAは「には」、「は」で示され、「～を持っている」構造におけるAは「は」で示される。

(25)我有很多中文小说。(『实用详解中国語文法』p315)

わたしは中国語の小説をたくさん持っています。(同上)

(26)我手里还有些积蓄，家用也应付得开。《关于女人》(原文)

わたしにわずかだけと貯金があつたもので、生活費だけはやりくりできた。『女の人について』(訳文)

(27)红星公社有十万多亩土地。(『現代中国語文法総覧』p583)

紅星人民公社には10万畝以上の土地がある。(同上)

(28)我有一个美满的家庭，妻子冯兰香是出名的美人儿，又温柔体贴。

《人啊，人》(原文)

おれには申し分ない家庭がある。妻の馮蘭香は評判の美人で、やさしくて思いやりがある。『ああ、人間よ』(訳文)

例(25)の“有”は、「～を持っている」との対応関係をなし、例(26)(27)(28)の“有”は、「～がある」との対応関係をなしている。なお、例(25)は「わた

しに中国語の小説がある」といえ、例(26)は「わたしはわずかだけと貯金を持っている」といえ、例(27)は「紅星人民公社は10万畝以上の土地を持っている」といえ、例(28)は「おれは申し分ない家庭を持っている」といえる。

一方、“有”が、アスペクト助詞“了”を用いる場合、変化のニュアンスが感じられ、“有”は「～を持つようになった(が持てるようになった)」、「～を持った」との対応関係を示す傾向がある。

(29) 翻身农民有了土地, 《金光大道》(原文)

解放農家は土地が持てるようになったし、『輝ける道』(訳文)

(30) 瞎子从此有了自己的家——他和随随。《插队的故事》(原文)

かの盲人はかくして自分と随随ふたりの家を持った。『遙かなる大地』(訳文)

3.3 AとBが家族関係・友人関係を示す場合

AとBが人名詞として、家族(夫婦・兄弟・姉妹)関係・友人関係を示す場合、“有”は「～がいる」との対応関係を示すことになり、親子関係を示す場合、“有”は「～がいる」、「～を持っている」との対応関係を示す。「～がいる」と「～を持っている」は置き換えが可能である。「～がいる」構造におけるAは「には(も)」で示され、「～を持っている」構造におけるAは「は」で示される。

(31) 我有爸爸、妈妈，还有一个姐姐一个弟弟，还有许多要好的朋友、

《青春之歌》(原文)

わたしにも、父や母がいるし、姉がひとり、弟がひとり、それにたくさんすばらしい友だちや同志たちがいる……『青春の歌』(訳文)

(32) 明娃妈三十五，这年龄要在北京，尚可飘飘扬扬地穿一身连衣裙。明娃妈已经有了七个儿子。《插队的故事》(原文)

明娃の母ちゃんは三十五歳、北京ならまだワンピースを翻していい年齢だが、彼女はもう七人の子持ちだった。『遙かなる大地』(訳文)

例(31)の“有”は「～がいる」との対応関係をなし、例(32)の“有”は「～持ち」との対応関係をなしている。ところで、例(32)は、“A已经有了B”構

造として、既に持っていることを伝えることで、「彼女はもう七人の子供を持っている」「彼女にもう七人の子供がいる」といえる。これらの場合、“了”は“有”の変化を意味するものではなく、“已经”との呼応関係を示しているといえる。そこで、“A已经有了B”構造と“A有了B”構造は区別すべきである。

一方、“A有了B”は、変化を表すことで、“有”は「～ができた」との対応関係を示す傾向がある。「～ができた」構造におけるAは「には」で示される。

(33) “鸿宾，咱们晓燕有了男朋友，你知道吗？”《青春之歌》（原文）

「あなた、わたしたちの晓燕には、ボーイフレンドができたんですよ、ご存知ですか？」『青春之歌』（原文）

(34) 他结婚，祖父有了孙媳，父亲有了媳妇，别的许多人也有了短时间的笑乐，但他自己也并不是一无所获。《家》（原文）

彼の結婚は祖父には孫の嫁ができ、父には息子の嫁ができ、他の多くの人々にも歓楽の数時間を過させたが、彼自身としても何も得なかったわけではない。《家》（訳文）

このように変化を表すことになると、例(33)(34)のように、“有了”は「～ができた」との対応関係を示す傾向がある。

4 属性を表す“有”構文

“有”構文におけるBがAの気質的な特徴・心理的な感情・数量的な特徴を示す場合、「本質的な属性を表す」といえ、BがAの状況的なことを示す場合、「状況的な属性を表す」といえる。本節では、〔I〕BがAの気質的な特徴を示す場合、〔II〕BがAの意志・感情を示す場合、〔III〕BがAの数量的な特徴を示す場合、〔IV〕BがAの状況を示す場合を検討の対象にしている。

4.1 BがAの気質的な特徴を示す場合

Aが人名詞であり、BがAの気質的な特徴を示す場合、“有”は「～がある」、「～を持っている」との対応関係を示し、「～がある」と「～を持っている」は置き換えが可能である。「～がある」構造におけるAは「には」、「は」で示

され、「～を持っている」におけるAは「は」で示される。

(35) 朱鉄漢有一个特点。《金光大道》(原文)

朱鉄漢には一つの特徴があった。『輝ける道』(訳文)

(36) 这女孩子真是聪明，有决断！《关于女人》(原文)

Fさんは聡明で、決断力があった。『女の人について』(訳文)

例(35)(36)の“有”は、「～がある」との対応関係をなしている。なお、例(35)「朱鉄漢は一つの特徴を持っている」といえ、例(36)は「Fさんは聡明で、決断力を持っている」といえる。

一方、これらの“有”構文における“有”は、前に“很・挺・最・特別・非常”などの程度副詞を用いる場合がある。これらの場合、「評価を表す」ともいえる。“有”が前に程度副詞を用いることで、“有B”全体が形容詞的で、“有”はBの意味によって、日本語との多様な対応関係を示す傾向がある。なお、これらの場合、例(37)(38)のように“有”と「～がある」との対応関係も可能である。

(37) 毛泽东这个部署很有战略眼光。《毛泽东传》(原文)

毛沢東のこの部署配置は戦略的見通しに富んでいた。『毛沢東伝』(訳文)

(38) 这孩子很有礼貌。(作例)

この子は礼儀正しい。(筆者訳)

(39) 我相信爸爸的话，他很有修养。《青春之歌》(原文)

わたしは父の言葉を信じるわ。父は教養のある人物よ。『青春の歌』(訳文)

例(37)の“很有”は「～に富んでいた」との対応関係であるが、「毛沢東のこの配置はとても戦略の目がある」ともいえる。例(38)の“很有”は「～正しい」との対応関係であるが、「礼儀がある」ともいえる。例(39)は「父は教養がある」ともいえる。

4.2 BがAの意志・感情を示す場合

Bが“警戒・认识・欲望・波动”のような心理的な抽象名詞として、Aの意

志・感情を示す場合、Aは人名詞を示す場合もあれば、“农民的生产情绪”のように抽象的な場所を示す場合もある。意志・感情は内心から現れる心理的なものとして、これらの“有”構文は、「意識の変化を表す」、「感情の変化を表す」ともいえる。

感情の変化を表す場合、“有”は「～があった」、「～した」との対応関係を示し、「～した」と「～があった」は置き換えが可能である。「～した」構造におけるAは「で」で示され、「～があった」構造におけるAは「に」で示される傾向がある。

(40) 以致农民的生产情绪还有些波动。《毛泽东选集第一卷》(原文)

農民の生産意欲にまだ動揺があった。『毛沢東選集一』(訳文)

(41) 我思想上有过波动。(『中国語文法概論』p312)

私は思想面で動揺したことがある。

例(40)の“有”は「～があった」との対応関係をなし、例(41)の“有”は「～した」との対応関係をなしている。例(41)は、「私の思想には動揺があった」ともいえる。

一方、意識の変化を表す場合、“A开始有了B”構造が用いられ、意識の変化の始まりを暗示する傾向がある。これらの場合、“开始有了”全体が「～をもちはじめていた」、「～なった」との対応関係を示すことになる。

(42) 由于昨天的猜想，道静对这个人开始有了一点儿警戒。《青春之歌》(原文)

昨日の疑いから、道静はこの男に、いくらかの警戒心をもちはじめていた。『青春の歌』(訳文)

(43) 在那个时候他对世界开始有了新的认识。《家》(原文)

しかし彼はそのとき新しい世界を知り、新しい認識をもった。『家』(訳文)

(44) 他开始有了进一步了解她的欲望，《钟鼓楼》(原文)

彼女のことをもっと知りたくなった。『鐘鼓楼』(訳文)

例(42)の“开始有了”は「～をもちはじめていた」との対応関係をなし、例

(43)の“开始有了”は「～をもった」との対応関係をなし、例(44)の“开始有了”は「～なった」との対応関係をなしている。例(44)は「欲望が出た」「欲望を持ちはじめた」ともいえる。

4.3 BがAの数量的な特徴を示す場合

〈1〉Bが数量詞か、数量詞を伴う名詞フレーズの場合

Bが数量詞か、数量詞を伴う名詞フレーズとして、Aの表す事物の総数を示す場合、「数量を表す」、「特徴を表す」ともいえる。これらの場合、“有”は「～ある」、「～である」との対応関係を示し、「～ある」と「～である」は置き換えが可能である。「～ある」は、直接数量詞と結ばれる。「～ある」、「～である」構造におけるAは「は」で示される。

(45) 一年有十二个月。(『現代中国語文法総覧』p589)

一年は十二ヶ月ある。(同上)

(46) 这本书有三百多页。(『現代中国語文法総覧』p589)

この本は300ページあまりある。(同上)

例(45)(46)における“有”は「ある」との対応関係を示しているが、例(45)は、「一年は十二ヶ月である」ともいえ、例(46)は、「この本は300ページあまりである」ともいえる。

一方、例(47)のように、Aが物名詞として、Bの数量がAの構成的な説明になる場合、“有”は「～になっている」との対応関係を示す。

(47) 这座桥有两层。(作例)

この橋は二層になっている。(筆者訳)

〈2〉Bが数量詞か、数量詞を伴う形容詞フレーズの場合

Bが数量詞か、数量詞を伴う形容詞フレーズとして、Aの身長・重さ・距離などの数量を示す場合、「数量を表す」といえる。また、“有”が、前に“得・大概”を用いることで、「推量を表す(見積もりを表す)」ともいえる。これらの場合、Aは人名詞・物名詞・場所名詞を示し、“有”は「～(は)ある」との対応関係を示す。「～(は)ある」構造におけるAは「は」で示される。

なお、例(48)のように、Aが成長を可能にする場合、“有”は「～(は)あ

る」「～になる」との対応関係を示し、「到達を表す」ともいえる。「～になる」と「～はある」は置き換えが可能である。

(48) “那孩子现在也得有十七八了。”《插队的故事》(原文)

あの子も今はもう十七、八になっているだろう『遙かなる大地』(訳文)

(49) “他得有一米八五吧？”《插队的故事》(原文)

「一メートル八十五はあるだろう」『遙かなる大地』(訳文)

(50) 从这里到天安门大概有五公里。(『現代漢語八百詞』p631)

ここから天安門まで大体5キロある。(筆者訳)

(51) 那条河有六百米(宽)。(作例)

川幅は600m ある。(筆者訳)

例(48)の“有”は「～になっている」との対応関係であり、例(49)の“有”は「～はある」との対応関係であり、例(50)(51)の“有”は「～ある」との対応関係である。例(48)は、「あの子も今はもう十七、八はあるだろう」ともいえる。

4.4 BがAの状況を示す場合

Aが人名詞であり、Bが“事・時間・工作・机会”のような個人的な状況を示す場合、“有”は「～がある」との対応関係を示す。これらの“有”構文は、未来のことを表す傾向がある。日本語におけるAは「には」、「は」で示される。

(52) 明娃妈有一桩要用钱的事：去给明娃把病治了，县上不行上延安，再不行去西安，去北京，…《插队的故事》(原文)

明娃の母ちゃんにはどうしても金のあることがある。明娃の病気の治療に行くことだ。県の町でだめなら延安へ、それでもだめなら西安、北京へ行くのだ。『遙かなる大地』(訳文)

(53) 我今天有时间。(作例)

私は今日時間がある。(筆者訳)

(54) 我明天有工作。(作例)

私は今日仕事がある。(筆者訳)

(55) 你会有机会。(作例)

あなたには必ずチャンスがある。(筆者訳)

5 変化を表す“有”構文

変化は基本的に、存在・所有の派生的な意味として、変化を表す場合、Bは抽象名詞、或いは動詞を示す傾向がある。一方“有”は後にアスペクト助詞“了”を用いる傾向がある。本節では、〔I〕社会の変化を表す場合、〔II〕表情・身体の変化を表す場合を検討の対象にしている。

5.1 社会の変化を表す場合

“有”構文において、Bが“改正、改进、改善、改良、改变、增添、变化、提高、扩大、突出、突破、滋长、进展、提及、发展、完善、增长、成就、转变、调整、缓和、行动、变形、修改、下降、减弱、消减、倾向、偏颇、迁就、补充”のような動詞として、Aが社会のある側面を示す場合、「社会の変化を表す」といえる。これらの場合、“有”は後に“了”、“所”を用い、“A有了B”、“A有所B”構造を用いる傾向がある。“有”は「～した(された)」、「～がある」との対応関係を示す場合もあれば、直接動名詞(B)によって多様な対応関係になる場合もある。

(56) 近年来, 中小学教育也有了很大发展。(『現代中国語文法総覧』p587)

ここ数年来、初等・中等教育も大きく発展した。(同上)

(57) 在工农业发展的基础上, 人民的生活水平有了很大的提高。

(『現代中国語文法総覧』p587)

農工業の発展を背景として、人民の生活レベルが大きく向上した。(同上)

(58) 卫生防疫工作取得新成绩。农村医疗卫生条件有所改善。

《人大报告 97》(原文)

農村の医療・衛生条件はいくらか改善された。『全人大報告(97)』(訳文)

(59) 改革开放以来, 全国各地经济都有很大发展, 但由于发展快慢不同, 地

区差距有所扩大。《人大报告 96》（原文）

改革・開放いらい、全国各地の経済は大きな発展をとげたものの、発展のスピードがそれぞれ違うため、地域間の格差がいくらか拡大した。

『全人大報告(96)』（訳文）

(60) 雪化了，风和泥土都湿润润的，山野间有了清新的生气。

《插队的故事》（原文）

雪が解けて風や土が湿りけを帯び、山野はすがすがしい生气に満ちていた。『遥かなる大地』（訳文）

(61) 积极推进国有企业改革，争取在一些重点难点问题上有所突破。

《人大报告 96》（原文）

国有企業の改革を積極的に推し進め、一部の重要かつ困難な問題点の突破があるよう努める。『全人大報告(96)』（訳文）

例(56)の“有了很大发展”は「発展した」との対応関係をなし、例(57)の“有了很大的提高”は「向上した」との対応関係をなし、例(58)の“有所改善”は「改善された」との対応関係をなし、例(59)の“有所扩大”は「拡大した」との対応関係をなし、例(60)の“有了清新的生气”は「生气に満ちていた」との対応関係をなし、例(61)の“有所突破”は、「突破がある」との対応関係をなししている。

なお、例(56)の「発展した」は「発展がある」ともいえ、例(58)の「改善された」は「改善がある」ともいえ、例(60)の「生气に満ちていた」は「生气がある」ともいえるが、例(57)の「向上した」、例(59)の「拡大した」は「～がある」への置き換え不可能である。

このように、社会の変化を表す場合、“有”は、直接Bの動名詞によって、示される傾向があるが、Bの意味によっては「～がある」との対応関係が可能な場合がある。

5.2 表情・身体の変化を表す場合

“有”構文において、Bが“笑容”のような抽象名詞として、Aが“脸上”のような身体名詞を示す場合、「表情の変化を表す」といえる。これらの場合、

“有”は、後にアスペクト助詞“了”を用い、“A有了B”構造を用いる傾向がある。“有”は「～になった」、「～がひろがった」、「～浮かんできた」とのような対応関係を示す。これらの場合、“有”と「～がある」との対応関係は見られない。

(62) 渐渐一道光掠过他的脸，立刻脸上有了笑容。《家》(原文)

しだいに一条の光がその顔をよぎって、急に笑顔になった。『家』(訳文)

(63) 孩子一岁了，呀呀学着话，用小指头搔着妈妈的脸，揪妈妈的头发，妈妈的脸上有了幸福的笑容。《青春之歌》(原文)

赤ん坊は一歳になった。かたことまじりでなにかいいながら、ちっちゃな手で母親の顔をつつき、髪の毛をひっぱるようになった。母親の顔には、幸福な笑いがひろがった。『青春之歌』(原文)

(64) 她低头思索了一会，脸上渐有笑容。《关于女人》(原文)

うつむいてじっと考えていた六妹の顔に笑みが浮かんできた。『女の人について』(訳文)

例(62)の“有”は、「～になった」との対応関係を示し、例(63)の“有”は、「～がひろがった」との対応関係を示し、例(64)の“有”は、「～が浮かんできた」との対応関係を示している。

一方、例(65)のように、Bが“白发”のような名詞として、Aが人名詞を示す場合、「身体の変化を表す」といえ、“A有了B”構造が用いられる。“有”と「～がある」との対応関係も可能であり、例(65)のように、「～がはえている」との対応関係として、変化が強調される場合もある。例(65)は、「背中がわずかに曲がり、白髪があった」ともいえる。

(65) 明娃妈在灯下给我铺被，背微驼了，有了白发，脸上的皱纹散开还是道道白痕。《插队的故事》(原文)

明娃の母ちゃんは明かりの下で布団を敷いてくれた。背中がわずかに曲がり、白髪がはえている。顔の皺が広がると以前のように白い筋になる。『遙かなる大地』(訳文)

6 おわりに

本論では、〔一〕存在を表す“有”構文、〔二〕所有・人間関係を表す“有”構文、〔三〕属性を表す“有”構文、〔四〕変化を表す“有”構文に注目し、“有”の構造的なタイプを規定しながら、“有”と日本語との対応関係を分析することで、“有”構文の構造的なタイプの特徴を明らかにした。

(一) 存在を表す“有”構文において、

- ①AとBが、場所と存在物との関係；範囲（モノ）と下位分類との関係；場所（時間）とこと（予定的な行事）との関係である場合、“有”は「～がある」との対応関係を示す。
- ②AとBが、場所と存在者との関係；範囲（ヒト）と下位分類との関係である場合、“有”は「～がいる」との対応関係を示す。
- ③AとBが、場所（時間）とこと（突然的なこと）との関係である場合、“有”は「～がした（する）」、「～があった」との対応関係を示す。

(二) 所有・人間関係を表す“有”構文において、

- ①AとBが、全体と部分関係；所有者と所有物との関係を示す場合、“有”は、「～がある」、「～を持っている」との対応関係を示す。
- ②AとBが、家族（夫婦・兄弟・姉妹）関係・友人関係を示す場合、“有”は「～がいる」との対応関係を示し、親子関係を示す場合、“有”は「～がいる」、「～を持っている」との対応関係を示す。“A有了B”構造における、“有”は「～ができた」との対応関係を示す。

(三) 属性を表す“有”構文において、

- ①BがAの気質的な特徴を示す場合、“有”は「～がある」、「～を持っている」との対応関係を示す。“A很有B”構造における“有”は、Bの意味によって、日本語との多様な対応関係を示す。
- ②BがAの感情を示す場合、“有”は「～があった」、「～した」との対応関係を示す。BがAの意志を示す場合、“A开始有了B”構造を用いる傾向があり、“开始有了”は、「～をもちはじめていた」、「～なった」との対応関係を示す。

③ Bが数量詞か、数量詞を伴う名詞フレーズの場合、“有”は「～ある」、「～である」との対応関係を示し、Bの数量がAの構成的な説明になる場合、“有”は「～になっている」との対応関係を示す。

Bが数量詞か、数量詞を伴う形容詞フレーズの場合、“有”は「～（は）ある」との対応関係を示し、Aが成長を可能にする場合、“有”は「～（は）ある」「～になる」との対応関係を示す。

④ BがA(人名詞)の状況を表す場合、“有”は「～がある」との対応関係を示す。

(四) 変化を表す“有”構文において、

① Bは動名詞として、社会の変化を表す場合、“有”は「～した(された)」、「～がある」との対応関係を示す場合もあれば、直接動名詞(B)によって、多様な対応関係を示す場合もある。これらの場合、“A有了B”、“A有所B”構造が用いられる傾向にある。

② Bは抽象名詞として、表情・身体の変化を表す場合、“有”は「～になった」、「～がひろがった」、「～浮かんできた」とのような対応関係を示す。“有”と「～がある」との対応関係は見られない。これらの場合、“A有了B”構造が用いられる傾向にある。

注

1) 『中国語文法概論』は、李臨定著 宮田一郎訳 1993.6

2) 『現代中国語文法総覧』は、劉月華[ほか]著 片山博美[ほか]訳 1996.6

3) 本論でいう関係的な意味とは、構造における要素と要素がむすばれる場合にあらわれる意味である。関係的な意味は、要素と要素とがむすばれるときあらわれるということで、他の要素に対しての役割的な意味でもある。

4) 本論でいう文法的な意味は“有”が後にアスペクト助詞・構造助詞を用いる場合の意味変化である。

5) 白愛仙 2006 博士論文「現代日本語における動詞「ある」文の研究」を参考。

主な参考文献

相原茂著 1997.2 『謎解き中国語文法』 講談社現代新書

- 荒川清秀著 2003.5 『一步すすんだ中国語文法』 大修館書店
- 吴春相 丁淑娟 2006.10 「“述结+有+数量结构”和“有”的主观大量义」现代中国语研究
- 王森 王毅 姜丽 2006 「“有没有/有/没有+VP”句」『中国语文』2006年 第1期
- 史有为 1984 「关于“动+有”」『语言学论丛』第十三辑 北京 商务印书馆
- 國金海二・木村秀次著 2003.9 『語法・句法 漢字・漢語』 明治書院
- 輿水優著 1985.3 『中国語の語法の話:中国語文法概論』 光生館 (中国語研究學習双書;8)
- 香坂順一著 1970 『現代中国語文法』 光生館
- 朱德熙著 杉村博文・木村英樹訳 1995.10 『文法講義:朱德熙教授の中国語文法要説』 白帝社
- 朱德熙著 松村文芳・杉村博文訳 『現代中国語文法研究』 白帝社 (中国語学研究叢書;4)
- 高橋弥守彦著 2006.4 『实用詳解中国語文法』 郁文堂
- 大東文化大学中国語大辞典編纂室編 1994.3 『中国語大辞典』 角川書店
- 张麟声 1993.11 「浅谈存在动词“有”与“ある”的对应分布域」『汉日语言对比研究』北京
京大学出版社
- 张爱民 1992.12 「“有”字的意义与“有”字句式」『汉语研究论集』 第一辑
徐州师范学院中文系 汉语研究论集 编委会编
- 丁声树等 1999.12 现代汉语语法讲话 商务印书馆文库
- 詹开第 1981 「有字句」『中国语文』1981 第1期
- 劉月華[ほか]著 片山博美[ほか]訳 1996.6 『現代中国語文法総覧』くろしお出版
- 李臨定著 宮田一郎訳 1993.6 『中国語文法概論』 光生館
- 范晓 1998.2 『汉语的句子类型』 书海出版社出版
- 白愛仙 2006.3 「現代日本語における動詞「ある」文の研究—「～がある」構文を中心に—」博士論文・大東文化大学
- 白愛仙 2006.10 「探讨动词「ある」做谓语的句型—以「～に～がある」句子结构为中心—」『汉日语言对比研究(七)』北京外国语大学 国际交流学院 编
- 呂叔湘主編 1999.1 『現代漢語八百詞』 商務印書館
- 呂叔湘主編 菱沼透 ほか訳 2003.6 『中国語文法用例辞典』 東方書店
- 刘苏桥 2002 「表比较的“有”字句浅析」『语文教学与研究』第2期

用例出典

中日対訳コーパス 北京日本学研究所センター 2003年